



# 株主の皆様へ

第110期 第2四半期のご報告

平成30年4月1日～平成30年9月30日



## To Our Shareholders

株主の皆様には、日頃より格別のご支援とご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。また、度重なる自然災害により被災された皆様には、心よりお見舞い申し上げます。

第110期第2四半期連結累計期間（平成30年4月1日～平成30年9月30日）における当社グループを取り巻く経営環境と事業活動の概況並びに通期経営成績の見通しについてご報告させていただきます。



代表取締役社長 山本明広

### 当第2四半期の経済情勢

当第2四半期連結累計期間における世界経済につきましては、好調な米国経済に支えられ堅調に推移してまいりましたが、一方で米中貿易摩擦や欧州の政情不安、中東の地政学的リスクなど、懸念される点がクローズアップされました。

わが国経済においては、これまで個人消費や設備投資の持ち直しと底堅い内外需によって企業収益が改善し、景気は緩やかな回復基調にありましたが、人手不足の深刻化を背景とした人件費の上昇や原油高に加え、度重なる自然災害や過熱する米中貿易摩擦の影響などもあって、景気回復に陰りが見え始めてまいりました。

### 当社グループの業績概況

当第2四半期連結累計期間における当社グループの経営成績につきましては、前期まで好調であった光学用表面保護フィルムが、スマートフォン市場の減速等により販売面で苦戦したほか、エアージェン材やテープ用基材の受注も振るわず、減収となりました。損益面については、原油価格の上昇を受けて原材料コストが増加した上、製品価格への転嫁が一部にとどまり、また、比較的収益性の高い製品の販売が落ち込んだこともあって、減益幅が拡大しました。

その結果、当社グループの経営成績は、売上高158億24百万円（前年同期比5.1%減）、営業利益2億26百万円（前年同期比72.6%減）、経常利益2億76百万円（前

年同期比65.6%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益1億73百万円(前年同期比67.5%減)となりました。

## 通期の業績見通し

当第2四半期連結累計期間の経営成績は前述のとおり厳しい結果となりました。今後は、以下の方策を実施することにより、業績回復に取り組んでまいります。

軽包装材料については、季節による受注量の変動に備えて、よりフレキシブルな生産体制に移行することによって、生産の効率化を図ります。また、採算が低下した銘柄の販売価格適正化に注力するとともに、製品設計の見直し等により製品原価を低減し、収益改善を図ります。同時に、電子レンジ対応食品包材「レンジD o !」のさらなる普及と、耐内容物包材、エア緩衝材等の独自商品の拡販を推進し、売上増加に努めます。

産業資材については、新設の掛川工場WESTの稼働率向上と、同工場を核とする生産体制の再構築を推進し、生産性向上と事業基盤強化を図ります。また、原材料の集約によってロスを削減し、コスト低減を進めるとともに、販売面においては、医療用剥離紙、FPC(フレキシブルプリント基板)用工程紙、炭素繊維プリプレグ用工程紙等の高付加価値製品の拡販と市場開拓を推進し、早期に収益改善を果たします。

機能性材料については、スマートフォン市場の減速に伴い、表面保護フィルムの需要は弱含みで推移しておりますが、顧客対応をより強化して次のチャンスに備えるとともに、液晶テレビ向けについては、今後需要が拡大

する4K画質、8K画質への対応に向けて品質レベルを引き上げ、顧客の信頼を高めます。また、中国蘇州市の合併会社：長鼎電子材料(蘇州)有限公司を含む当社グループ製品のレベルアップを実現し、シェア拡大を目指します。

その結果、当社グループの通期の経営成績は、売上高324億円(前期比1.1%減)、営業利益5億円(前期比58.3%減)、経常利益7億50百万円(前期比33.9%減)、親会社株主に帰属する当期純利益4億50百万円(前期比49.3%減)を見込んでおります。

なお、セグメント別の売上高は、軽包装材料133億円(前期比1.4%増)、産業資材74億円(前期比1.8%増)、機能性材料110億円(前期比5.9%減)、その他7億円(前期比3.1%増)を見込んでおります。

平成30年12月

## 第2四半期決算ハイライト

- 売上高  
**158億24**百万円(前年同期比 **5.1%**減)
- 営業利益  
**2億26**百万円(前年同期比 **72.6%**減)
- 経常利益  
**2億76**百万円(前年同期比 **65.6%**減)
- 親会社株主に帰属する四半期純利益  
**1億73**百万円(前年同期比 **67.5%**減)



## Segment Review

### 軽包装材料

42.2%



#### 事業内容

食品、医薬品、医療器具、洗剤・トイレタリー用品、電子部品、精密機器等の包装材料(包材)の製造・販売を行っています。市場ニーズを的確にとらえ、内容物に最も適したパッケージを供給するとともに、自然環境に優しい包材の開発にも取り組んでいます。

### 産業資材

21.1%

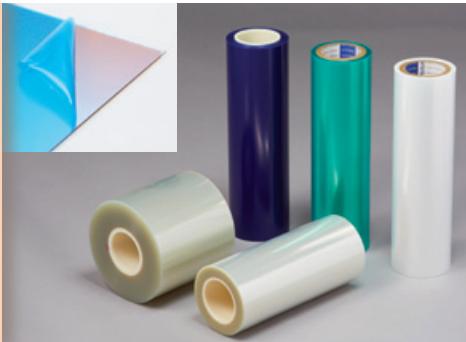


#### 事業内容

粘着テープ・ラベル等の基材、剥離紙の製造・販売を行っています。近年は、粘着テープやラベルの用途が多様化・高度化しており、こうした要求に応え、長年にわたり培ってきたラミネート技術や離型剤塗工技術を駆使し、新製品開発を進めています。

### 機能性材料

34.5%

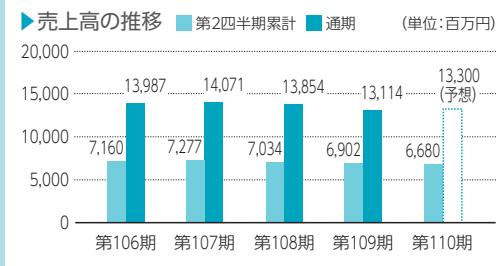


#### 事業内容

粘着塗工タイプ、2層押し出しタイプ、精密塗工タイプに分類される各種表面保護フィルムの製造・販売を行っています。フラットパネルディスプレイ向け偏光板や輝度向上フィルム等の光学用途から建材用途に至るまで、様々な部材を加工時・輸送時・保管時のキズ・ホコリ・汚染から保護します。

## 当第2四半期連結累計期間の概況

- ・**食品用包材**については、電子レンジ対応食品包材「レンジDoo!」の新タイプ投入の効果で受注拡大。清涼飲料用パウチも堅調で、増収。
- ・**医薬品・医療用包材**については、高防湿PTPシート用フィルム「テクノフィルム」が伸長するも、他の医療用機器関連の包材が低調で、減収。
- ・**洗剤・トイレタリー用包材**については、化粧品用包材が不調。液体洗剤及びシャンプー・リンス等詰替え用パウチの受注も伸び悩み、減収。
- ・**精密機器その他の包材**については、エア緩衝材「エアロテクト」が主力ユーザーの使用量削減により受注が大きく減少。その他の包材でカバーできず、減収。



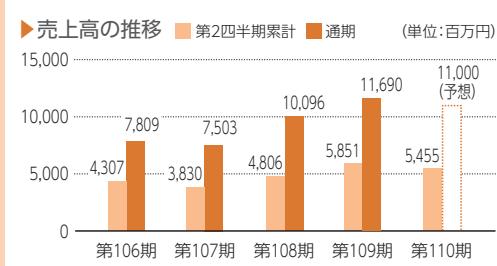
## 当第2四半期連結累計期間の概況

- ・**テープ基材関連製品**については、物流・建築業界においては粘着テープの需要は堅調であるものの、テープメーカー間の競争激化に伴う受注機会の減少と、一部銘柄の新工場への生産移管遅延による生産数量減少等の影響により、減収。
- ・**剥離紙**については、電子部品用両面テープや医療用品に使用される剥離紙の受注が増加した反面、スマートフォン市場の減速に伴うユーザーの生産調整により、FPC（フレキシブルプリント基板）用工程紙の受注が減少。その他の用途も伸び悩み、減収。



## 当第2四半期連結累計期間の概況

- ・**粘着塗工タイプ「サニテクト」**については、剥離フィルムのないPET基材の「NSタイプ」が増加するも、その他の光学用途の受注が不調で、減収。
- ・**2層押し出しタイプ「PAC」**については、偏光板用途の受注が堅調に推移するも、前期に受注が増加したスマートフォン関連が市場減速の影響で減少し、減収。
- ・**精密塗工タイプ「SAT」**については、液晶テレビ向けが海外を中心に受注を確保するも、スマートフォンのモデルチェンジ等に伴う販売数量の減少により、減収。





# Financial Statements

## 四半期連結貸借対照表

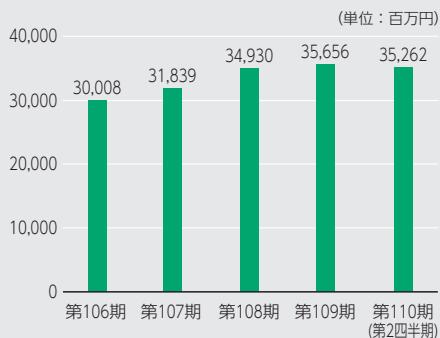
(単位：百万円)

科目	前期末 平成30年3月31日現在	当第2四半期末 平成30年9月30日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	20,522	19,776
現金・預金	5,619	5,014
売上債権	11,575	11,183
たな卸資産	3,231	3,233
その他	95	344
固定資産	15,133	15,486
有形固定資産	8,486	8,296
無形固定資産	43	37
投資その他の資産	6,603	7,152
<b>資産合計</b>	<b>35,656</b>	<b>35,262</b>

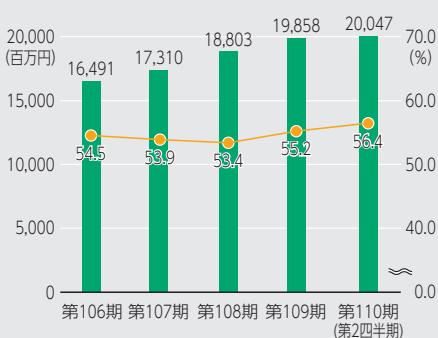
科目	前期末 平成30年3月31日現在	当第2四半期末 平成30年9月30日現在
<b>負債の部</b>		
流動負債	12,724	12,348
仕入債務	6,875	6,957
短期借入金	3,226	3,280
その他	2,623	2,111
固定負債	3,072	2,866
長期借入金	1,305	1,003
その他	1,767	1,863
<b>負債合計</b>	<b>15,797</b>	<b>15,215</b>
<b>純資産の部</b>		
株主資本	17,531	17,606
資本金	2,176	2,176
資本剰余金	2,136	2,136
利益剰余金	13,334	13,409
自己株式	△116	△116
その他	2,326	2,441
<b>純資産合計</b>	<b>19,858</b>	<b>20,047</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>35,656</b>	<b>35,262</b>

〔「税効果会計に係る会計基準」の一部改正〕(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度に係る主要な経営指標等については、当該会計基準等を遡って適用した後の指標等となっております。

### ■ 総資産



### ■ 純資産 ● 自己資本比率



### ■ 売上高 ■ 第2四半期累計 ■ 通期



四半期連結損益計算書

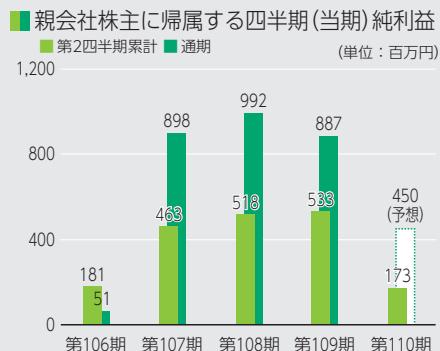
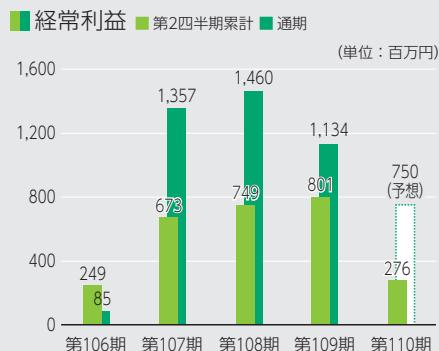
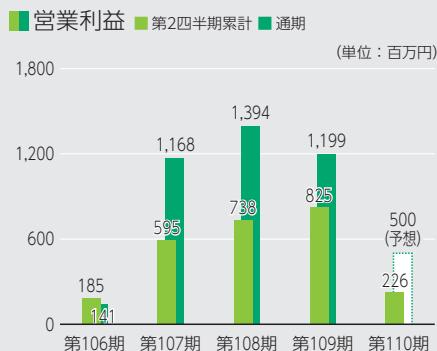
(単位：百万円)

科 目	前第2四半期(累計) 平成29年4月 1日から 平成29年9月30日まで	当第2四半期(累計) 平成30年4月 1日から 平成30年9月30日まで
売上高	16,677	15,824
売上原価	14,291	14,044
売上総利益	2,385	1,780
販売費及び一般管理費	1,560	1,554
営業利益	825	226
営業外収益	109	181
営業外費用	133	131
経常利益	801	276
税金等調整前四半期純利益	801	276
法人税、住民税及び事業税	254	96
法人税等調整額	13	21
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	△14
親会社株主に帰属する四半期純利益	533	173

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	前第2四半期(累計) 平成29年4月 1日から 平成29年9月30日まで	当第2四半期(累計) 平成30年4月 1日から 平成30年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,470	890
投資活動によるキャッシュ・フロー	△382	△1,190
財務活動によるキャッシュ・フロー	△245	△351
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	19
現金及び現金同等物の増減額	841	△631
現金及び現金同等物の期首残高	4,257	5,488
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,099	4,856



当社のフィルムテクノロジーは、産業を支える部材から、皆様の豊かな暮らしをサポートする食品、医療・医薬品、日用品などに使用される包装資材まで、幅広いジャンルでご要望にお応えしています。今回は当社の多彩な製品群のなかから『エアロマット』をご紹介しますとともに、アンケート結果と展示会出展のご報告をいたします。

## 製品のご紹介

### 災害時の緊急避難場所で快適に過ごせる簡易エアーマット

## 【災害時用エアーマット】エアロマット

災害時の備蓄品として話題を集めています

環境に優しく、地球にも優しい緩衝材として、好評を博している、当社のエア緩衝材シリーズ。『エアロマット』は、その技術を応用した災害時用エアーマットです。災害時には公共施設などが緊急避難場所として使用され、コンクリートなどの冷たく硬い床で、長時間待避することが想定されます。そのような際、付属の簡易ポンプで空気を注入することにより、簡単に膨らませることができる『エアロマット』が活躍します。



素材はポリエチレンとナイロンの2層構造。

#### ●主な特長

##### 1 快適な寝心地



空気を使用しているため、クッション性・断熱性に優れており、緊急時の身体的な負担を軽減します。

##### 2 当社オリジナルの逆止弁構造



空気の逆流を防いで高い気密性を保ちます。空気注入後、3ヶ月は空気が抜けることはありません。

##### 3 コンパクトに収納



保管に最適なフィルムベース。梱包段階は強度を保つためK6ダブルを使用しています。

##### 4 廃棄もコンパクト



可燃物として廃棄。焼却しても有毒な塩素ガスは発生させません。※廃棄時は自治体の区分に従ってください。

##### 5 MADE IN JAPAN



本体は日本国内で製造しています。当社のエア緩衝材は工業用途で多数採用実績がございます。

##### 6 耐荷重 600Kg/m以上

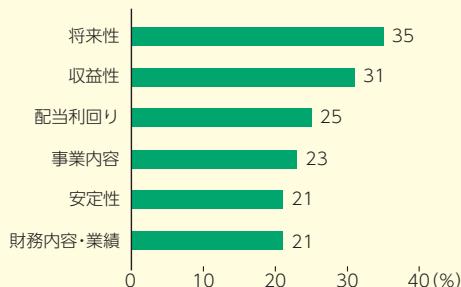


空気を入れた状態での耐圧静荷重は600Kg/m以上です。

## アンケート結果

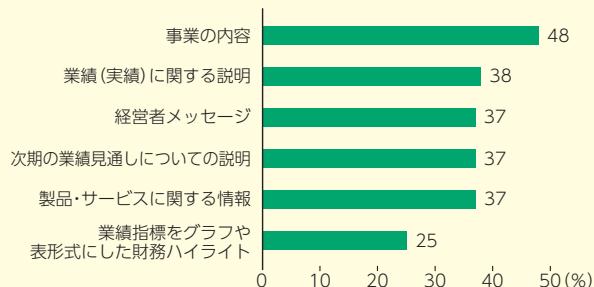
「株主の皆様へ 第109期 決算のご報告」において、アンケートを実施いたしました。多くのご回答、ありがとうございました。  
ここにアンケート結果の一部をご報告いたします。

Q 当社の株式を購入された理由は何ですか？



当社の将来性や成長に伴う収益性を重視されて当社株式を購入された方が上位を占める結果となりました。今後も株主の皆様のご期待に沿えるよう、さらなる成長を目指して事業活動に邁進してまいります。

Q どの掲載内容を中心にご覧いただけましたか？



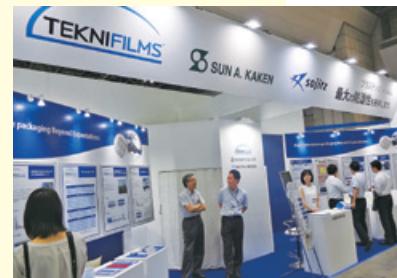
具体的な掲載内容としては、「事業の内容」にもっとも多くの回答をいただきました。自由記述においても、当社の事業に対するご期待や当社製品に関する記載をいただいております。当社の事業内容をより知っていただけるよう、この冊子の工夫を進めていきたいと存じます。

※今回もアンケートを実施いたします。裏表紙にご案内を掲載しておりますので、ぜひご回答ください。

## 展示会出展

医薬・化粧品業界 日本最大の専門技術展に出展  
「第31回 インターフェックスジャパン」

「第31回 インターフェックスジャパン」が6月27日～29日まで東京ビッグサイトで開催されました。双日プラネット株式会社様と共同で、防湿性・透明性に優れたフィルムを使用した医薬品包装材の「テクニフィルム」を中心に展示し、多くの製薬会社様から興味を示していただきました。





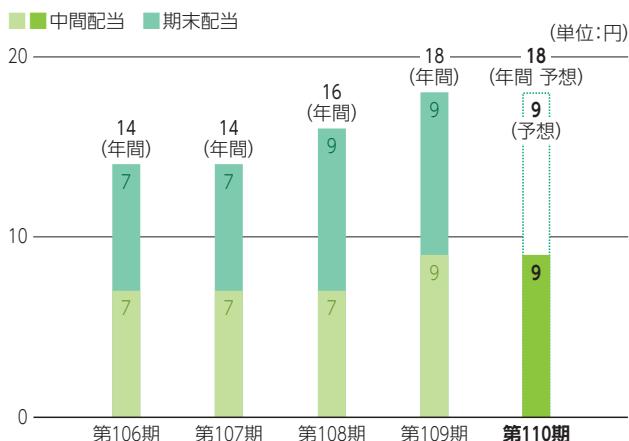
### ● 配当金について

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題の一つとして位置づけており、将来の事業展開と企業体質の強化に備えて必要な内部留保を確保しつつ、安定的かつ継続的な配当を行うことを基本方針としています。

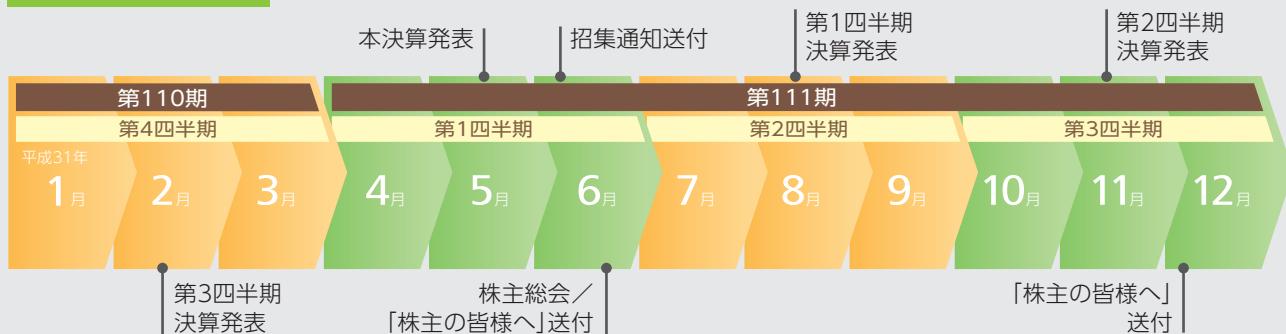
この方針の下、第110期（平成31年3月期）の中間配当金につきましては、連結経営成績及び財政状況等を総合的に勘案し、1株当たり9円とすることといたしました。

また、期末配当金につきましても9円を予想しております。これにより、第110期の年間配当金は合わせて1株当たり18円を予想しております。

### 1株当たり配当金



### IR カレンダー





### 株式の状況

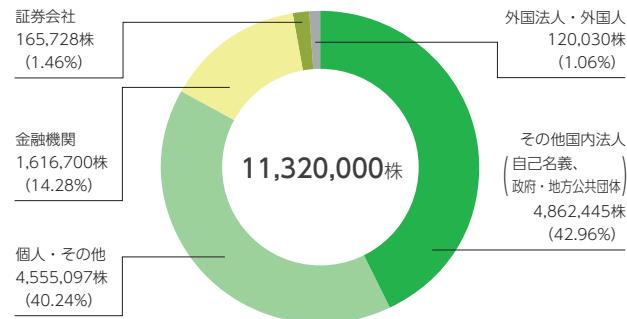
- 発行可能株式総数 ..... 45,000,000株
- 発行済株式の総数 ..... 11,320,000株
- 株主数 ..... 2,755名

### 大株主の状況

株主名	当社への出資状況	
	持株数(株)	持株比率(%)
新生紙パルプ商事株式会社	1,812,200	16.51
昭和ボックス株式会社	1,244,200	11.33
サンエー化研社員持株会	343,500	3.13
株式会社三菱UFJ銀行	310,000	2.82
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (退職給付信託口・昭和ボックス株式会社口)	300,000	2.73
みずほ信託銀行株式会社 (退職給付信託 昭和ボックス株式会社口)	300,000	2.73
双日プラネット株式会社	227,000	2.06
株式会社みずほ銀行	200,000	1.82
山田 美千代	121,500	1.10
鈴木 靖子	117,000	1.06

1. 当社は自己株式を345,345株保有しておりますが、上記の大株主から除いております。
2. 持株比率は自己株式(345,345株)を控除しております。

### 所有者別株式分布状況



### 会社概要

商号	株式会社サンエー化研
本社所在地	東京都中央区日本橋本町1-7-4
事業所	関西支店、名古屋営業所、台北営業所 静岡工場、袋井工場、掛川工場、掛川工場WEST、 奈良工場 R&Dセンター
設立	昭和17年9月
資本金	21億76百万円
従業員数	558名
主な事業内容	紙、プラスチック、金属箔等を主原材料とする 軽包装材料、剥離紙、粘着テープ基材、表面保護 フィルム等、包装材料関連製品の製造及び販売

### 連結子会社

- 東邦樹脂工業株式会社  
本社・工場／栃木県下都賀郡野木町野木148
- 株式会社ペンリード  
東京都中央区日本橋本町1-7-4
- 灿櫻(上海)商貿有限公司  
中国上海市長寧区虹橋路

### 役員

代表取締役会長	藤岡 宣 隆	取 締 役	山 本 元
代表取締役社長	山 本 明 広	社 外 取 締 役	藤 澤 廣 一
常務取締役	櫻 田 武 志	常 勤 監 査 役	鈴 木 直 樹
取 締 役	大 橋 宏 行	監 査 役	宮 本 貞 彦
取 締 役	芝 彦 尚	監 査 役	飯 崎 充

(注) 監査役 鈴木直樹、宮本貞彦及び飯崎充の各氏は、社外監査役です。

## 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
配当金受領株主確定日	3月31日(期末配当) 9月30日(中間配当)
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL 0120-232-711(通話料無料) 郵送先: 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
同連絡先	
上場証券取引所	株式会社東京証券取引所 JASDAQスタンダード 電子公告により行う
公告の方法	公告掲載URL <a href="http://www.sun-a-kaken.co.jp">http://www.sun-a-kaken.co.jp</a> (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします)

### 【株式事務に関するお問い合わせ】

- (1) 住所変更、配当金の振込指定、単元未満株式の買取請求等のお申出先について  
証券会社に口座を開設されている株主様は、当該証券会社にお問い合わせください。  
証券会社に口座がないため特別口座に記録されている株主様は、上記の特別口座管理機関(兼株主名簿管理人)である、三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部にお問い合わせください。
- (2) 払渡期間経過後のお取り扱い  
配当金領収証の裏面に受取方法を指定し、三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部までご郵送いただくか、同銀行全国各支店窓口にてお受け取りください。

## ホームページのご案内

当社の詳細なIR情報は、  
ホームページをご覧ください。

当社ホームページの〈投資家情報〉では、  
詳細なIR情報を掲載しております。  
また新製品情報をはじめ、業務内容や最新の  
企業情報、展示会情報等についてもご覧い  
ただけます。



<http://www.sun-a-kaken.co.jp>

## 株主の皆様のお声を聞かせてください

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

当社では、株主の皆様のお声を聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。

お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を進呈させていただきます



<https://www.e-kabunushi.com>  
アクセスコード 4234

いいかば

検索



空メールによりURL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。



携帯電話からもアクセスできます

QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、右のQRコードからもアクセスできます。QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。



※本アンケートは、株式会社 a2media(イー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。  
(株式会社 a2media)についての詳細 <https://www.a2media.co.jp>

※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ 「e-株主リサーチ事務局」 TEL:03-6779-9487 (平日 10:00~17:30) MAIL:info@e-kabunushi.com

## 株式会社 サンエー化研

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町1-7-4  
TEL 03-3241-5701 FAX 03-3241-5719



見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォントを  
採用しています。

